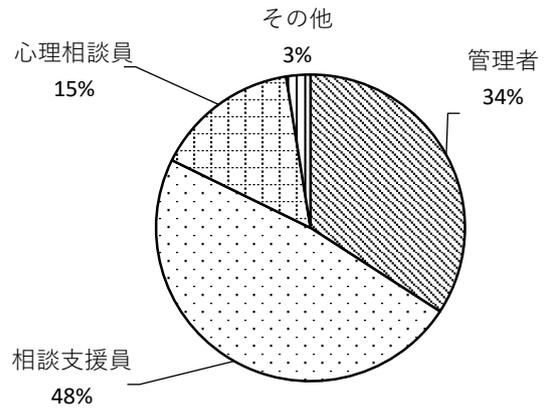


平成30年度 第19回 全国児童家庭支援センター研究協議会静岡大会アンケート結果

1 回答者の属性

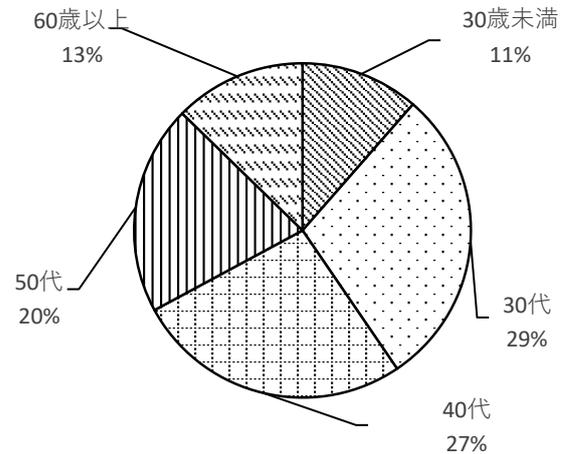
(1) 職種別

区分	人数	割合
管理者	27	34%
相談支援員	38	48%
心理相談員	12	15%
その他	2	3%
計	79	100%



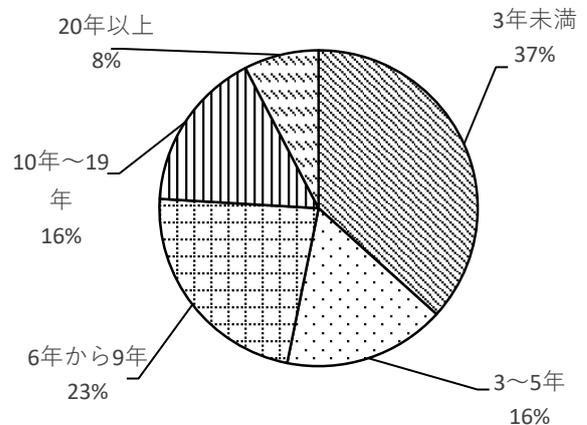
(2) 年齢別

区分	人数	割合
30歳未満	9	11%
30代	23	29%
40代	21	27%
50代	16	20%
60歳以上	10	13%
計	79	100%



(3) 経験年数別

区分	人数	割合
3年未満	29	37%
3～5年	13	16%
6年から9年	18	23%
10年～19年	13	16%
20年以上	6	8%
計	79	100%

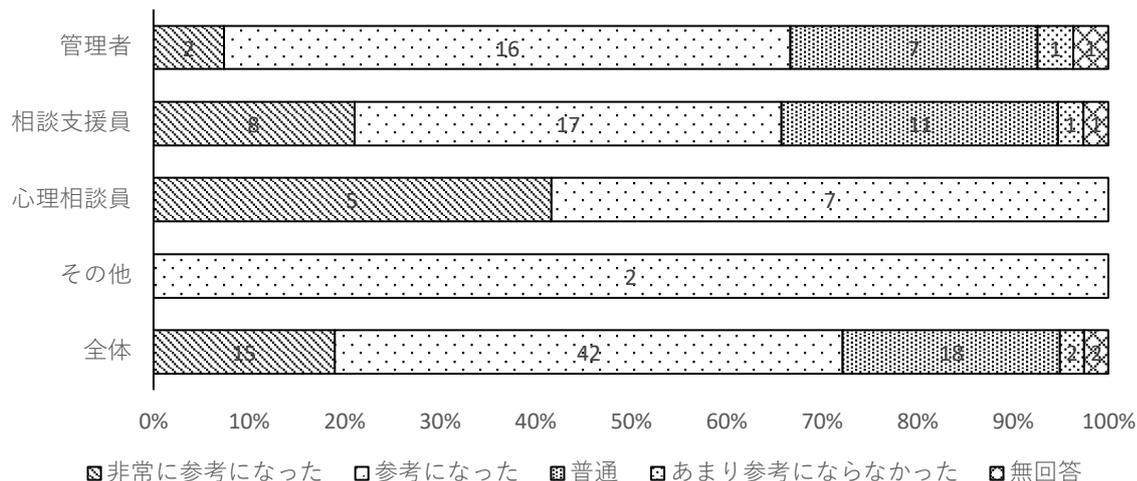


2 内容の評価

(1) 行政説明(社会的養護の現状、並びに、改正児童福祉法及び関係施策について)

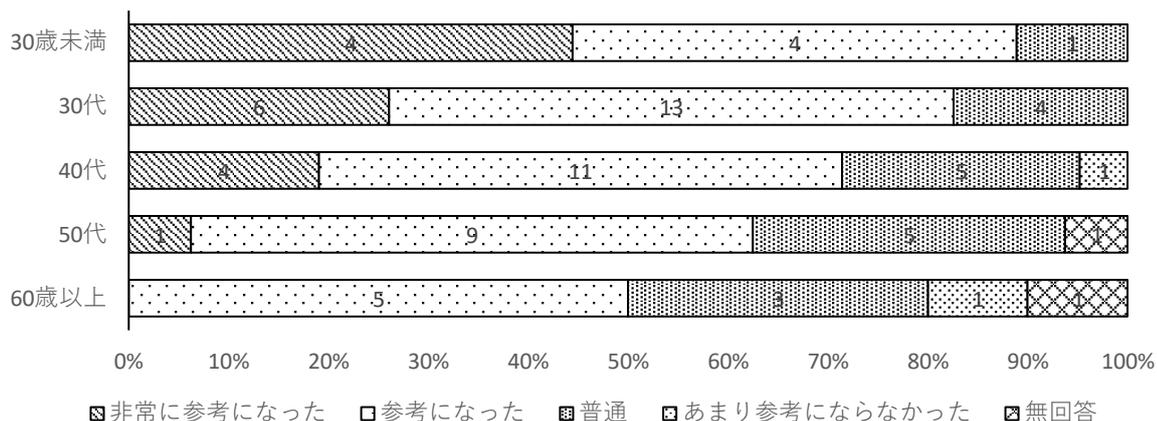
◎職種別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
管理者	2	16	7	1	1
相談支援員	8	17	11	1	1
心理相談員	5	7			
その他		2			
全体	15	42	18	2	2
全体の割合	19%	53%	23%	3%	3%



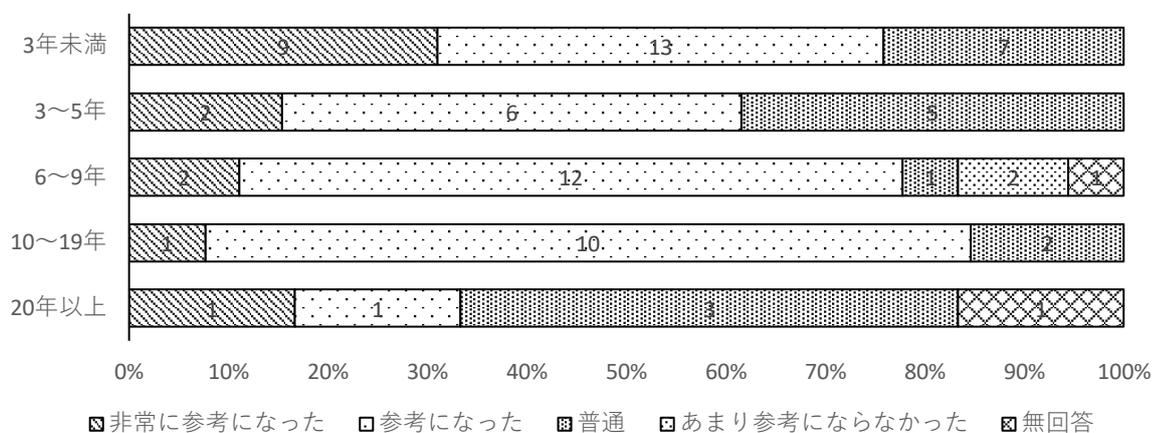
◎年齢別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
30歳未満	4	4	1		
30代	6	13	4		
40代	4	11	5	1	
50代	1	9	5		1
60歳以上		5	3	1	1



◎経験年数別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
3年未満	9	13	7		
3～5年	2	6	5		
6～9年	2	12	1	2	1
10～19年	1	10	2		
20年以上	1	1	3		1



◎意見・感想

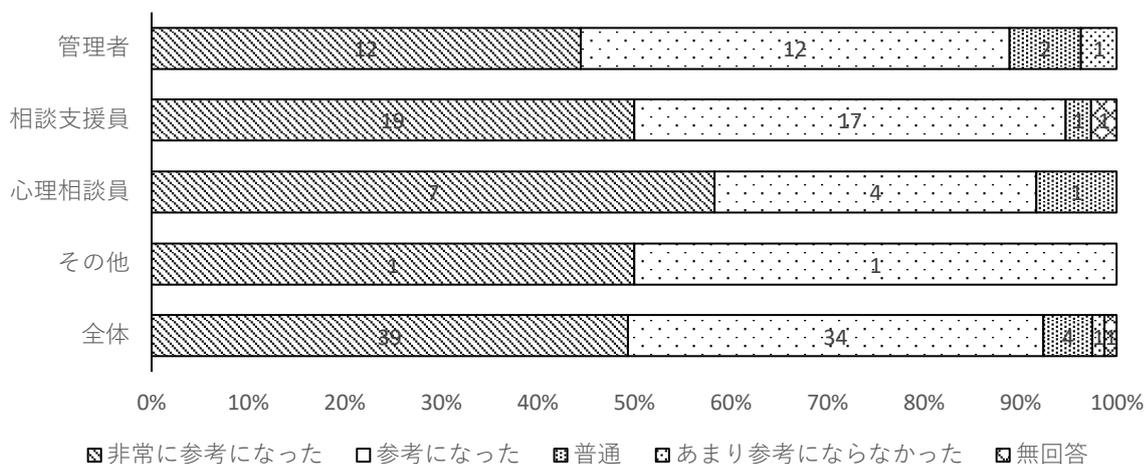
- ・社会的養護の現状や児家センの求められているあり方など、わかりやすく説明されていて理解できた。
- ・本体施設が”情短”のため、フォスタリング機関のイメージが持ちづらかったが、説明をきき少し展開のイメージがわいた。
- ・策定要領やフォスタリング起案のすすむ方向性を知ることができ参考になった。
- ・知っている内容ばかりでした。
- ・社会的養護に理解がある方で話がわかりやすかったです。
- ・わかりやすかった。
- ・もう少し児家センについての国の見解などくわしくお聞きしたい場面もありました。
- ・再認識の場となった。
- ・児家センの印刷したものが欲しかったです。
- ・当日追加された説明資料も配布してほしい。
- ・フォスタリング機関の資料のアイデア
- ・フォスタリング機関について少し思い違いをしていたので勉強しなおさなくてはと思った。
- ・フォスタリング機関の役割や児家センとしてできること、求められていることについてもっと具体的な話を聞きたかったです。本体施設の里専との連携や役割分担についても。
- ・フォスタリングのことについて理解が深まった。
- ・大枠の中で社会的養護、児家センが今後どうしていくのかという視点を得られた。
- ・フォスタリング機関の役割について理解できました。

- ・子どもの権利擁護について、新しい情報、動きを敏感にキャッチしていかないと虐待につながることを再認識できた。
- ・センターにおけるフォスタリングの活用方法について参考になりました。
- ・児童福祉の変革期であり、情報を少しでも得たいので良かった。
- ・数字でみると我々の活動の実態がよりわかりやすいと感じた。
- ・とにかく資料が充実していました。
- ・フォスタリングの考え方が少し理解できた。
- ・新たな知識を得ることができました。
- ・行政の部分は、ここまで読み込んでということがなかなかないので勉強になりました。今の動きについて、例えを交えて説明をしてくださってわかりやすかったです。
- ・今後の方向性が少し見えた。
- ・児家セン機能の部分を詳しく説明していただけると嬉しい。
- ・いつも通り、国が児家センにどのように期待しているのか今後の方向性もよくわからない。
- ・行政の実情を基にこれからの児家センのあり方を考えることができました。フォスタリングを専門分野等絞って受けるというのは初めて伺いました。持ち帰って上司にも伝えたいと思います。
- ・現在の福祉の現状を把握することができたので良かったです。
- ・行政の考え、今後に向けた流れをより知れて良かったです。

(2) 講義（「子どもの育ちをひらく」～支援者ができる少しばかりのこと～）

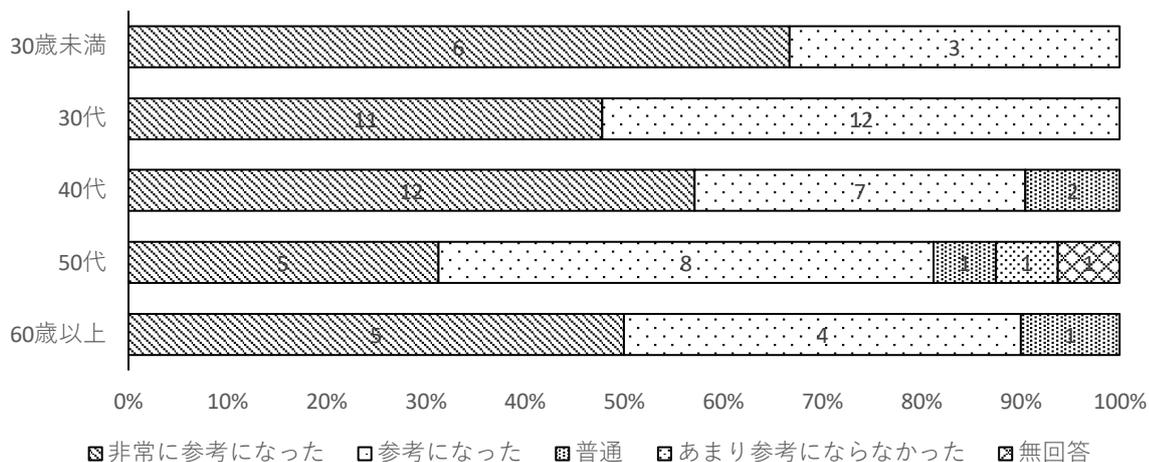
◎職種別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
管理者	12	12	2	1	
相談支援員	19	17	1		1
心理相談員	7	4	1		
その他	1	1			
全体	39	34	4	1	1
全体の割合	49%	43%	5%	1%	1%



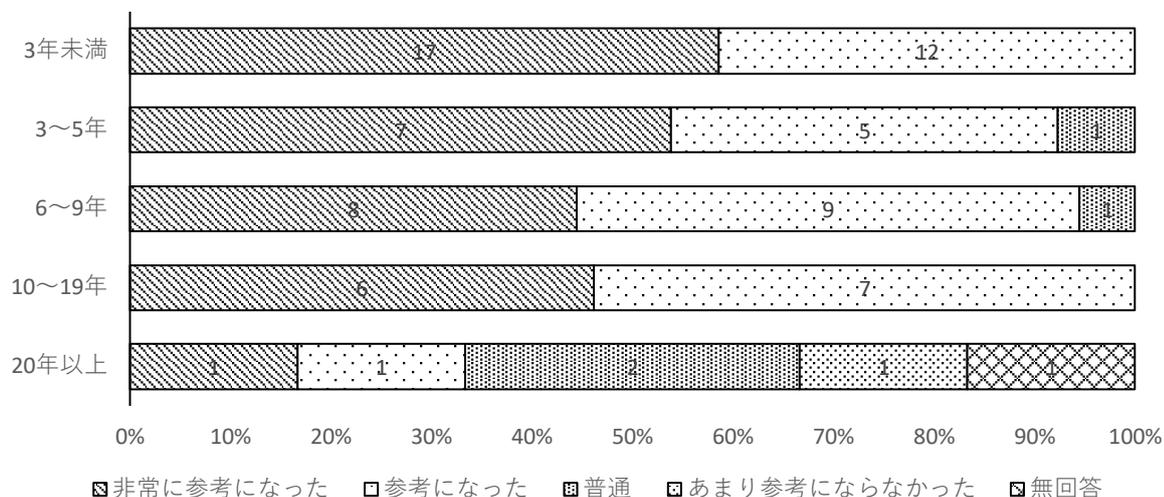
◎年齢別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
30歳未満	6	3			
30代	11	12			
40代	12	7	2		
50代	5	8	1	1	1
60歳以上	5	4	1		



◎経験年数別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
3年未満	17	12			
3～5年	7	5	1		
6～9年	8	9	1		
10～19年	6	7			
20年以上	1	1	2	1	1



◎意見・感想

・様々な「育ち」を考えさせられた。違う視点が自分の中にもできて、今後の支援にも役立つように思う。

・自分自身を見直すことが出来ました。教えるだけではだめ、経験が大事ということが重要なのは分かりますが、大人にはどうしたらいいのか・・・今からの課題となります。

・支援者の考え方については参考になったが、では実際どうすべきかということまで知りたいと思った。先生のもたれる事例をきいてみたい。

・牧先生のうまくいかないことを一緒に育てていく、という話は今後の支援を考える上で、大切なことだと感じた。

・正しい育ちはどこにもない。子どもを育てることはリスクを負うことというお話は大変共感しました。

・要対協の話などなかったですし、熱い思いはわかりました。

・先生の熱い思いが伝わってきました。

・傾聴、共感という基本の徹底が大切。

・今担当している保護者を思い浮かべながら聞いていて、改めて保護者支援に力をいれようと思った。子の方が柔軟性は高く、親の方が変化に時間がかかるが、児家センだから長く関われるメリットもあると思い、親の支援に力を入れていきたい。

・「育つ」「育てる」の意味をもう一度考えさせられるお話でした。

・独特な先生でした。でも、内容は本質についていて納得でき、とても勉強になりました。

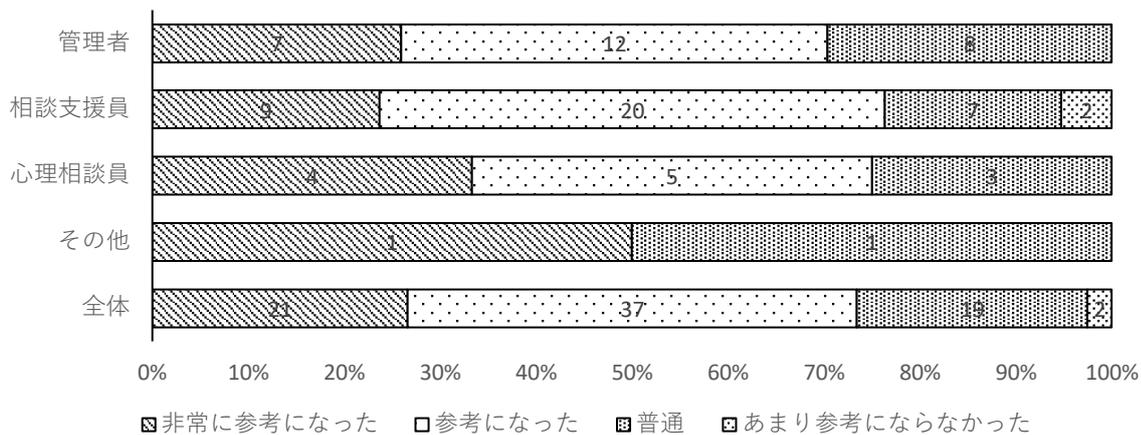
- ・子育てや人間関係は技術だけでは学べるものではないのだと心新たにできました。ありがとうございました。
- ・うんうんと、うなずく箇所がいくつもあり、興味深くきくことができた。
- ・2~3歳の大切さ、親子の育ちについて、養護施設やセンターの職員に伝えることができます。
- ・子どもは社会で育てるもので、教えるのではなく、お母さんを赤ちゃんと一緒に育てていく重要性を学びました。こうしたつながりを作っていく役割を再認識しました。
- ・地域の子育て支援に関わる者としてすごく参考になった。実践者研修に招致してほしい。
- ・先生の熱いお話。心にひびきました。
- ・表情によるコミュニケーションは時間を要すが大事であること。働きかけが大事。
- ・「子育ては困難なもの」というところをもっと支援者が子育て中の人たちに知らせていかなくてはと思った。
- ・センターで関わるケースと重ねながらタイムリーな話がきけました。それだけでなく自分自身の過去や将来を考えるヒントにもなったように思います。
- ・今後の活動において、背中を押していただいたような思いがある。「コミュニケーション」=「ことば」という印象をもつお母さんに「しゃべる」だけが全てではないと伝えるヒントをいただけたのではと思う。
- ・コミュニケーションの発達をとおして通じる体験の積み重ねが大切であること(教えるということをついついしてしまうが)言葉だけではできないことを感じた。
- ・支援者としてのあり様を再確認できて良かった。
- ・精神科の先生のお話ということで、とても勉強になり、私が学んできた別の角度からの知見を得られたと思います。
- ・忘れかけてはいけない育ちの基本を見直しでき、明日から心新たに取り組みするようメンバーに話し伝えたい。
- ・体験しなければわからないという説明を聞き、しっくりきました。また、自分支援が間違いではないと思えて良かったです。
- ・教えるのではなく育てることを学ぶことができました。
- ・育ちを考え直す機会になりました。具体的予防法も教えていただき早速実践していきたいと思います。
- ・熱意の感じる講義に感動しました。ありがとうございました。
- ・支援の根本を改めて学ぶことができました。
- ・専門的な内容をわかりやすい言葉で説明していただき、理解を深めることができたと同時に、わかりやすい言葉で伝えることの大切さを改めて思った。
- ・「子育てはうまくいかないものだ」は良い言葉。
- ・相談される方への向き合う姿勢や寄り添う(安心できる)姿勢を改めて意識づけとなった。
- ・とても心に響く講演でした。親御さんの育っていない部分を育てる視点で今後の支援につなげていきたい。

- ・育ちについて改めて考える機会になりました。育てることは、一人ではできないこと、支えがいること、うまくいかないことを含めて一緒に寄り添い考えることの大事さを感じました。
- ・自分の経験や考えを振り返る機会になり、励みにもなりました。
- ・子育てのベースを再確認できました。
- ・今まで聞かなかった考え方ですごく参考になった。
- ・いくつか参考になった意見や考えもあったが児家センとしてという視点ではあまり役立たなかった。
- ・日頃の相談、原点に立ち返り、先生のお話を参考に活かしたいと思います。自分自身も育つことができるよう努力したいです。
- ・子育ては母子共に一緒に育てていく。リスクは必ずある。とても大事なことを教わったように思います。
- ・牧先生の力の入ったお話とても印象に残っています。自分自身が保護者さんと関わる際にも今後大切にしていきたいと思います。本も読んでみたいと思います。
- ・寄り添い共に育つことをパッションと共に投げかけられ、圧倒され、心地良かった。
- ・とても大切なことを改めて学ぶことができました。育ちで大きな違いができるのが乳幼児期というのは、本体が乳児院の当センターではもっと職員、保護者支援にも活かしたいと思います。
- ・先生のお話にずっと共感しながら聞いていました。支援者がどんな見方、考え方をもってお母様方に関わるかが一番大事だと感じました。牧先生のお話本当に良かったです。先生に直接お伝えできなかったので、どうぞお伝えください。機会があったらお呼びしたいと思いました。

(3) パネル討論（「児童家庭支援センターの要保護児童対策地域協議会への参画」）

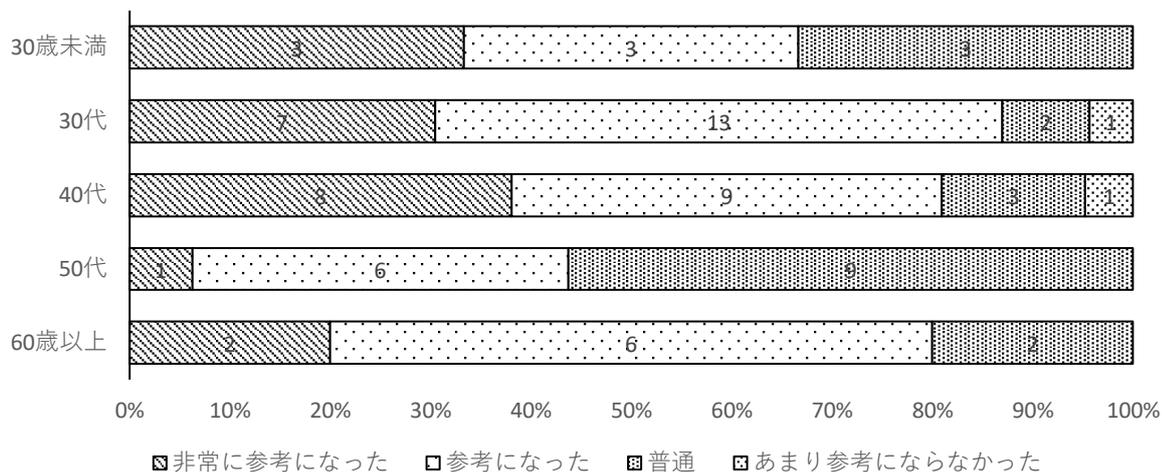
◎職種別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
管理者	7	12	8		
相談支援員	9	20	7	2	
心理相談員	4	5	3		
その他	1		1		
全体	21	37	19	2	0
全体の割合	27%	47%	24%	3%	0%



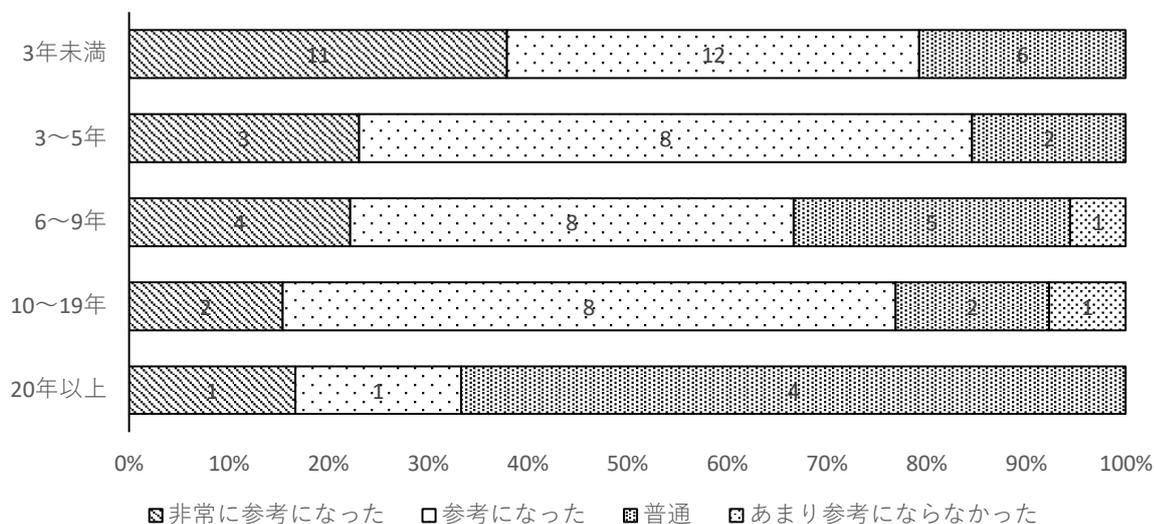
◎年齢別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
30歳未満	3	3	3		
30代	7	13	2	1	
40代	8	9	3	1	
50代	1	6	9		
60歳以上	2	6	2		



◎経験年数別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
3年未満	11	12	6		
3～5年	3	8	2		
6～9年	4	8	5	1	
10～19年	2	8	2	1	
20年以上	1	1	4		



◎意見・感想

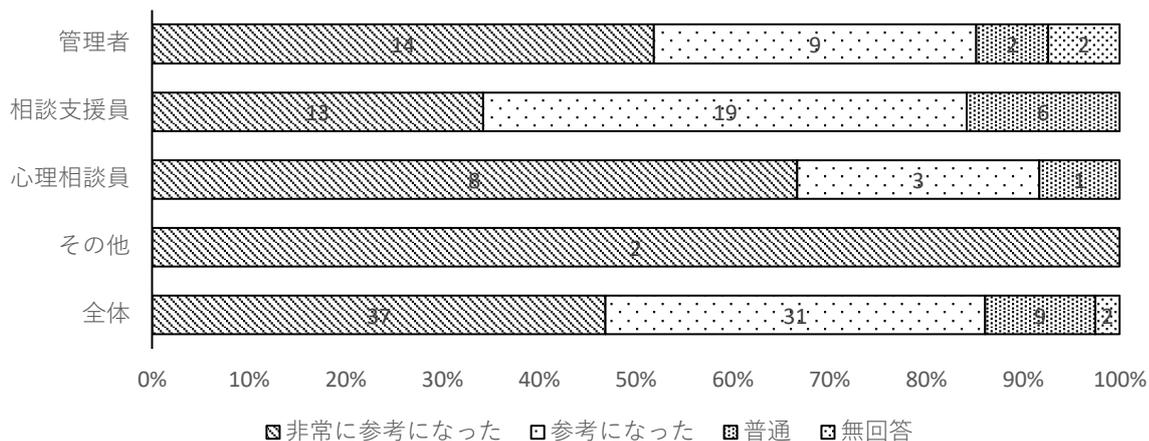
- ・時間が短い。討議は必要か？
- ・各センターの地域の要対協の現状がわかった。いろいろなタイプがあり、その地域のニーズに応じたセンターの立ち位置で活動されているなあと感じた。
- ・要対協に関しては、行政がかかわってくるので、どうしようもない部分がある。
- ・要対協があまり自分がわからないので！
- ・都市部と地方のそれぞれの関係機関連携や要対協について知ることができた。
- ・大都市、地方の市町の児家センの活動について知ることができ、それぞれの良さを取り入れることができると感じました。
- ・横浜の事例の考察について「子育て…」に終始していた。相談先で夜間ショートの子どもの対応をさせ続けるのは労基法に抵触しないのか。週1回以上の夜勤多すぎないか。
- ・地域差があると改めて感じました。
- ・討論の時間が短かったと思います。
- ・「パネル討論」となると、時間が短かったように思います。
- ・地域差があるのが児家センの特徴であると改めて感じた。基礎をもって独自性を発展させていくのだなと思った。
- ・要対協はたくさんの団体、組織で構成されているが、充分にそのパワーが発揮されていないような気がする。
- ・2センターの活動が具体的に聞けました。

- ・それぞれの取り組みやシステムがよくわかりました。
- ・要対協への参加が求められるようになってから10数年。地域性もあり参加していない児家センもある。他県がどのように参加しているのかを知ることはできるが、自身の児家センへの参考にはなりにくいなと思った。
- ・横浜型児家センの事業内容等を参考にさせていただきたいと思います。特にショートステイについて。帰ってすぐ行政に報告します。
- ・要対協へ参画していく必要性を強く思いました。要対協構成員になる自治体をさらに増やしていくために、セールスに力を入れていかななくてはいけないと思います。
- ・もう少しフロアとの討論をしてほしかったです。
- ・行政(横浜市)と要綱で支援の取り決めをきちんとされているというお話が参考になった。
- ・これからの支援活動をする際にとっても必要なものだと感じた。
- ・地域によって市町村の取り組みや方針が違うことが見えた中で改めて自分たちのセンターの位置づけを整理するきっかけとなったように思います。
- ・もう少し討論の時間があっても良かったと思う。
- ・要対協への関わりについて、必要性は感じているが、児家センの役割をもう少し明確にして、市町の要対協にも積極的に関わる必要があると思った。
- ・どのセンターも地道なことから行っていかないといけないのだと感じた。
- ・活動の参考に大いに役立った。
- ・要対協と良好関係を結ぶことの大切さを学びました。
- ・要対協参画への思い(ピーアール活動等)も聞いたので自身の要対協意識も高まった。
- ・地域、市町村の行政等の関係機関の考え方で大きく違ってくると思うが児家センの役割を積極的にアピールして行って、相談支援を広げていきたいと改めて思う内容だった。
- ・地域ごとの特色をよく知ることができました。
- ・当センターの取り組みとの違いを感じながら話をきいた。パネル討論での気づきを今後活かしていきたい。
- ・他の児家センが要対協とどのようにつながれているのかを知ることができて良かったです。
- ・実践のコントラスト(大都市・田舎)で地域性を感じた。
- ・発表者間での討論をもう少し聞きたかった。
- ・基本的にはこれまでの先進的取り組みをしているセンターの紹介とあまり変わらない(テーマはしぼっていたか)。討論の時間も短い。
- ・やはり地域性を感じるものになりました。市町村の積極的な体制づくりは本当に恵まれた環境ですね。自分たちの今の困りごととは少し違うと感じました。
- ・どのようなことを他のセンター方がされているのかを知ることができて良かったです。
- ・自分も要対協の実務者会議に出席しているのでパネリストの方々のセンターの様子や取り組みを知り自分たちのセンターではこれからどうしていけると良いのか…と考えるきっかけをいただきました。
- ・地域性、独自性に差がある。児家センであるため、バランスの良い人選であったと思う。
- ・環境の近いセンターの発表はとても良かったです。

(4) グループ討議

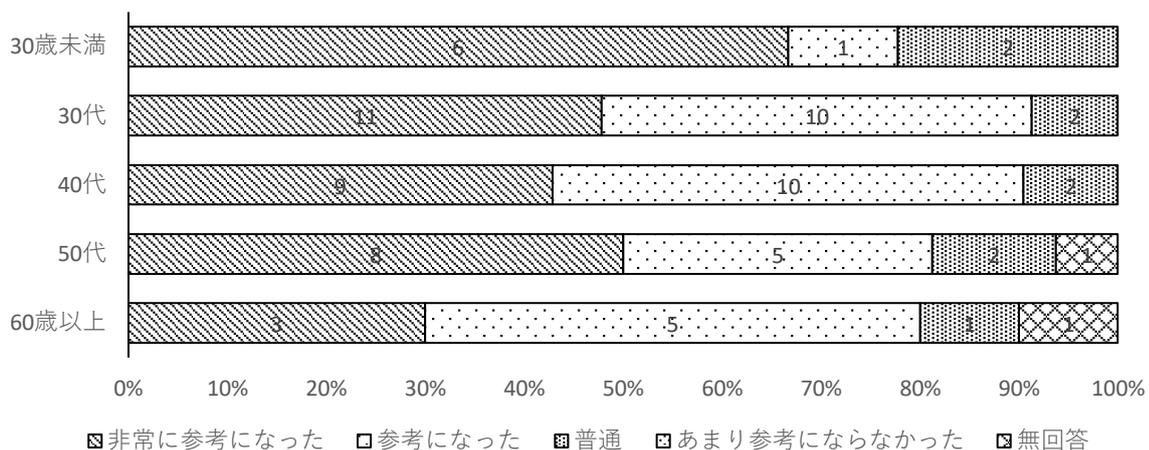
◎職種別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
管理者	14	9	2		2
相談支援員	13	19	6		
心理相談員	8	3	1		
その他	2				
全体	37	31	9	0	2
全体の割合	47%	39%	11%	0%	3%



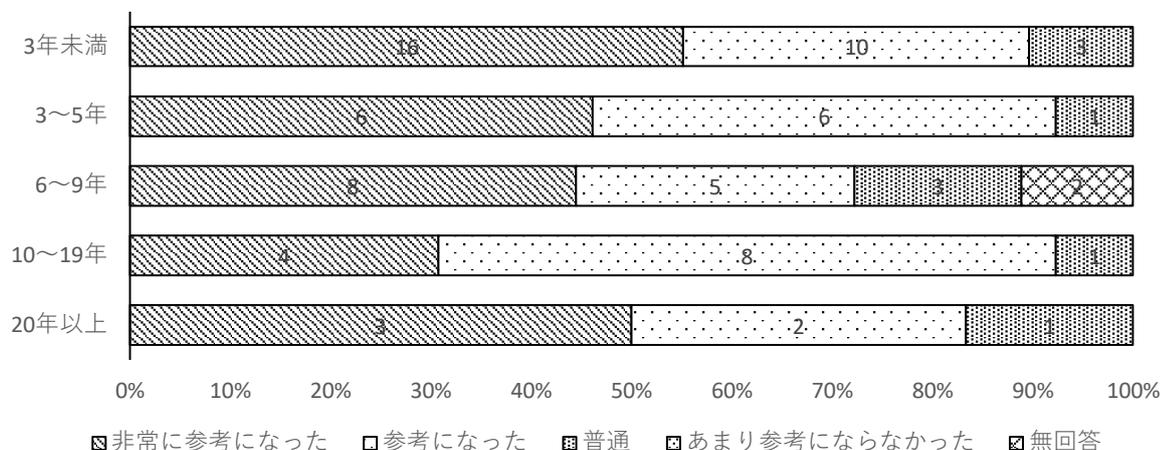
◎年齢別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
30歳未満	6	1	2		
30代	11	10	2		
40代	9	10	2		
50代	8	5	2		1
60歳以上	3	5	1		1



◎経験年数別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
3年未満	16	10	3		
3～5年	6	6	1		
6～9年	8	5	3		2
10～19年	4	8	1		
20年以上	3	2	1		



◎意見・感想

- ・各地域の現状が知れて、勉強になった。自分の地域で使えそうなこともあり、持ち帰って検討したい。話の論点がずれないように司会の方が事前にまとめやすいペーパーを準備してくれたのもよかった。
- ・実際にどのようにしたらよいかアドバイスがとびかい、地域性があるがその中で児家センがどういうことを基本にやっていけばいいか話し合うことが出来た。
- ・要対協にあげることも意味がわからないでいたが、それは、私たちの地域の要対協がうまく機能していなかったんだと思いました。
- ・要対協に参加することは目的ではなく、要対協で何を示せるのかが児家センの課題だと思う。
- ・同じ職種のグループでも、地域性や児相の方針などで要対協への関わりが随分違うことがわかり、課題も改めて考えさせられました。
- ・他センターのお話は参考になる。
- ・同じ職種同士で討議できたのは良かったと思います。
- ・2日目のグループ討議は必要なかったのではないかと思います。パネル討論の時間がもう少しあったほうが良かったです。
- ・今回同職種で話し合いができたのが良かった。2日目は発表がなかったことで、ギリギリまで話ができて良かった。
- ・他センターの様子がかがえて参考になりました。
- ・各センターの話を聞くにしても、人数もちょうどよく討議しやすかったです。
- ・各自治体によって児家センの役割や位置づけが大きく違うことに改めて驚きました。

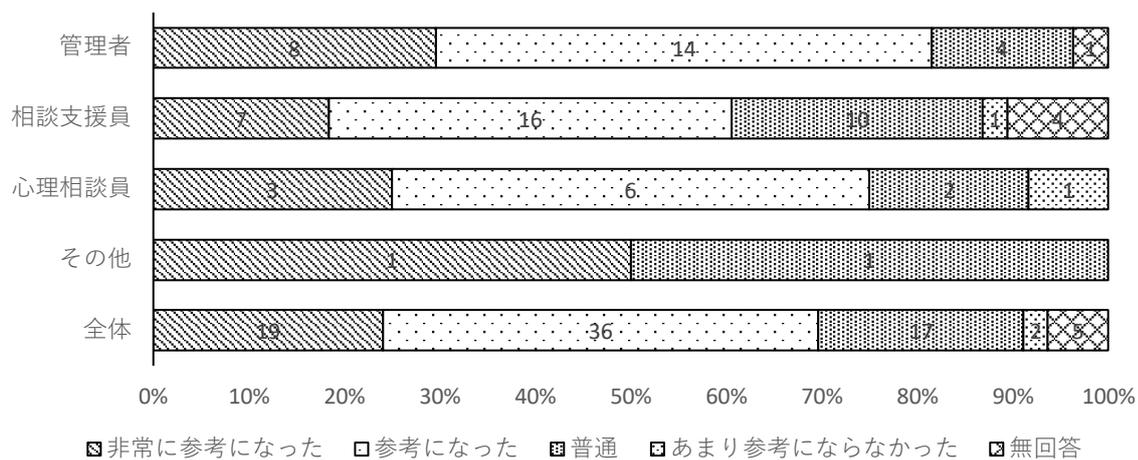
- ・各地域の取り組み、あり様の話をきくことができとても嬉しかったです。
- ・有意義な情報交換ができました。
- ・各センターの取り組みや行政等の関わり方において、各県で違いが大きいことがわかった。
- ・各県市町村と状況はそれぞれ異なるが、要対協も対応に苦慮しているはずなので、自センターの強みをアピールしていきたいと思った。
- ・他県の要対協参画について知ることができた。
- ・各センターの取り組みや強み、課題が伺え、勉強になる部分や共感できる部分があった。
- ・職種が同じで話しやすく参考になることも多かった。グループ討議が多く情報交換できたことが良かったと思う。もう少し人数(グループの)が少ない方が聞きやすく話しやすい。
- ・各県や政令市によって違いが大きいことがわかった。取り組み中のアドバイスをいただけた。
- ・地域によって児家センの役割、要対協との関わりも違い勉強になった。
- ・いろいろな児家センのあり方があることを知ることができて良かった。
- ・いろいろなセンターのお話がきけて良かった。自分のセンターに持ち帰り励みにしたいと思います。
- ・職種ごとのグループになっており、管理者になりたての自身にとっては恐縮することもあったが大変勉強になりました。
- ・各センターの取り組み、いかに地域に溶け込み、地域性の工夫等が参考になりました。
- ・児家センでも地域によって特色が違うので色々な意見がすごくありがたかったです。
- ・メンバーが全員政令市に在るセンターだった。政令市特有の課題点が浮き上がり非常に興味深い討論となった。
- ・有意義な時間となりました。様々な取り組みを聞くことは勉強になります。
- ・各児家センの話が聞けたり、そこで討論できる時間がもう少しとれたら良かったと思う。
- ・同じ職種でもセンターによって業務が違い、視点が大きく異なる場合もあり驚いた。
- ・自由に意見交換ができて良かった。
- ・様々なセンターの取り組みを聞けました。
- ・他センターと当センターの比較、課題をみつめるいいきっかけになった。今後の支援に活かしていきたい。
- ・他機関へのつながり、セールスどのようにしていくかを考える機会になりました。
- ・グループ割の工夫(参加者の分け方が良かった)
- ・各地域ならではのお話も聞けて参考になりました。
- ・討議内容からずれることもあったが、他センターの様子を聞け参考にできることもあり良かった。
- ・できる限り時間をとっていただいたのですがやはり時間が足りない。
- ・同じ職種の人と顔の見える場での交流、良い機会を頂きありがとうございます。参加したグループは意見交換と言うよりSVという風に感じました。里親担当の方に要対協という内容は厳しいですね。

- ・悩み・苦勞の中に、子ども、親のためにと日々努力されている方々の話をきくことができ、良い学ぶ機会となりました。
- ・様々な地域の方々のお話伺えて良かったです。相談員の方でのグループでお話できたのは、話もわかりやすく、より色々な意見が出ていたかと思います。
- ・政令市でグループを作っていたので状況の近いセンターの意見や取り組みを知ることができ、たくさんのお土産ができた。
- ・多くのセンターの方から話をきくことができ良かったです。
- ・全国のセンターの動向が聞けるのは本当に貴重な機会であり難いです。

(5) 資生堂海外研修報告

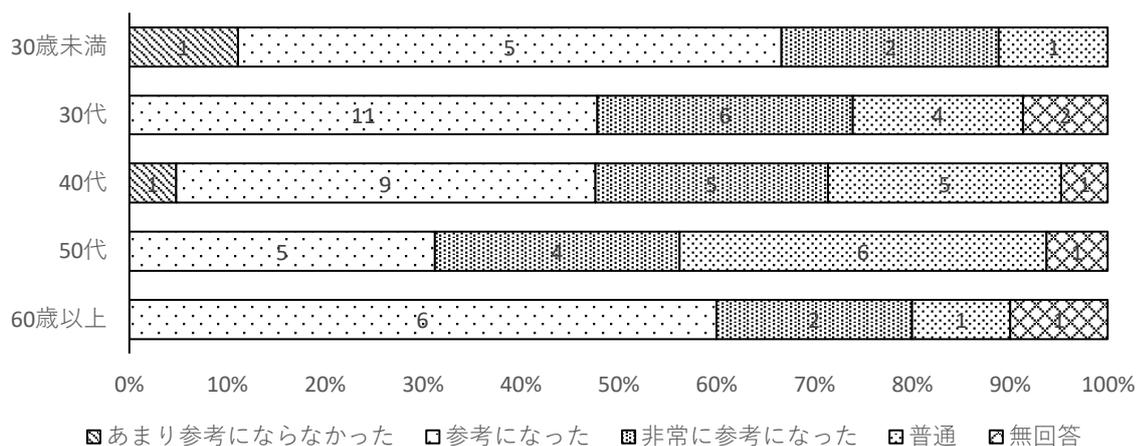
◎職種別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
管理者	8	14	4		1
相談支援員	7	16	10	1	4
心理相談員	3	6	2	1	
その他	1		1		
全体	19	36	17	2	5
全体の割合	24%	46%	22%	3%	6%



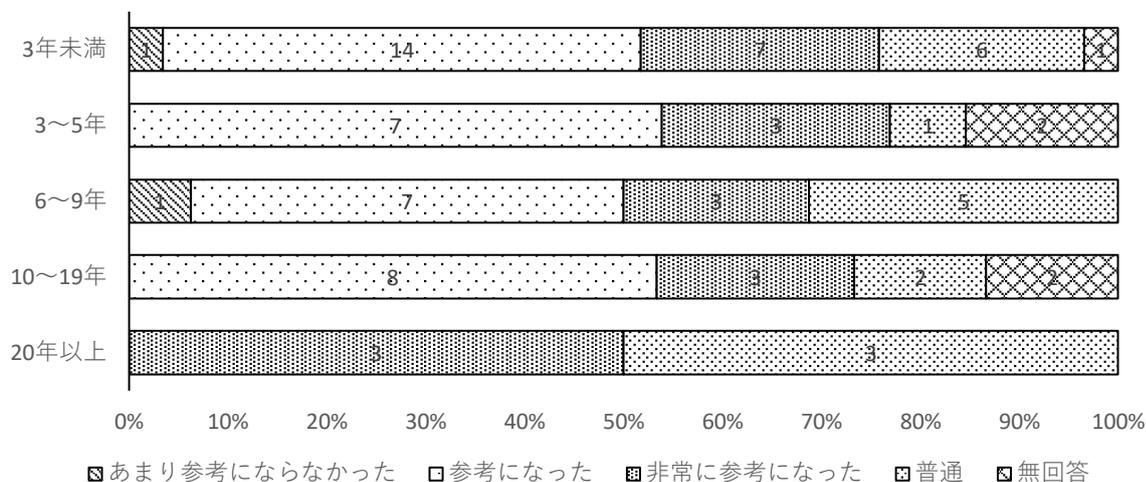
◎年齢別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
30歳未満	1	5	2	1	
30代		11	6	4	2
40代	1	9	5	5	1
50代		5	4	6	1
60歳以上		6	2	1	1



◎経験年数別

区分	非常に参考になった	参考になった	普通	あまり参考にならなかった	無回答
3年未満	1	14	7	6	1
3～5年		7	3	1	2
6～9年	1	7	3	5	
10～19年		8	3	2	2
20年以上			3	3	



◎意見・感想

- ・チャウシェクス時代の負の遺産が未だに影響していることに驚いた。
- ・諸外国の先進的取り組みに遅れながら進んでいる日本の福祉政策がある中で大変参考になりました。SOSの里親の取り組み等詳しく聞きたかったです。
- ・若い人が視野を広げるということは、大変意義あることだと思う。
- ・報告書を再度読みたいと思います。
- ・2つの国の考え方や理念、実態について教えていただきありがとうございました。
- ・社会的養護のあり方の改革期に、タイムリーな研修で参考になりました。詳しく知りたい。
- ・紹介ではなく海外の取り組みをどう日本の国に持ち込むのか等の報告にしてほしい。
- ・里親制度が普及された意味がよくわかった。
- ・もう少し丁寧に聞きたかった。発表の時間を増やす。全内容ではなくどこかに焦点化して詳しく紹介などできれば良かったのかなと思う。発表者の焦りがすごく気になった。
- ・虐待加害ケースの在宅支援でこういう取り組みをしてうまくいってるという内容を希望します。
- ・海外での貴重な経験をきけて良かった。
- ・速すぎでもう少し時間があればと少々残念。
- ・ルーマニアの里親制度に興味を湧きました。座学、月2家庭訪問3ヶ月での社会評価等の充実。

- ・海外ともなると違いが多くて変わった視点から考える時間となりました。
- ・今後の日本の社会的養護の方向性を考えていくうえで非常に参考になった。
- ・福祉国家だけあり、様々な役割が公的な仕事になっている点に感心した。
- ・ひるがえって、我ら日本は？参考になりました。
- ・外国の取り組みについて知る機会が少なかったため貴重な機会となった。
- ・海外の動きがよくわかりました。家庭養護への転換に子どもが置いてけぼりになる可能性もあるのかなと思いました。政策の変化が子供たちの状況に大きく影響を与えてい
- ・報告書を読んでみたいと思う。
- ・この時間をグループ討議にした方が良さそう。資生堂さんの支援を受けて海外研修をしているから止むを得ないかも知れないが海外研修の冊子を読めば充分だと思う。発表自体は良かった。
- ・職業里親初めて知りました。きちんと身分や報酬も保障されることも担い手を増やす。関心をもっていけるのは良い効果があるのかなと感じました。
- ・毎年のことであるが、情報量も多すぎるため児家セン職員に有用な情報に絞って話をしても良いのではないかな。

3 今後の大会でとりあげてほしいテーマ、話を聞いてみたい講師

- ・各児家セン、いろんなところに力点を置いていると思うので、（相談、虐待対応、里親支援など）分科会形式にわけるとより自分の関心のある講義を聞いてよいように思います。
- ・しつけといつつ、子を思いのままにする親に対する対応。電話対応の実践等今までの電話相談学会？（京都→いのちの電話）がなくなったので・・・
- ・要対協、フォスタリング機関について。概要だけでなく、深める研修があると良いと思います。
- ・フォスタリング機関、児家セン、里親会、要対協のシンポジウム
- ・もっとミクロな支援内容を知りたい。事例検討的なものを作ってほしい。先生(講師)によるSVなど。
- ・各児家センの取り組みを多く知りたいと思いました。また業務の中での問題点や困っていることなども知りたいです。
- ・フォスタリング機関(予算含む)
- ・福祉は実践。相談支援の手法や職員の援助技術向上のためのテーマで研修してほしい。
- ・事例検討
- ・虐待の連鎖
- ・色々勉強させていただきました。ありがとうございました。
- ・児童相談所との連携について
- ・実践事例
- ・相談業務を行うにあたっての必要な技術
- ・児家センの位置づけ(地域支援の現状における)
- ・滝川一廣先生
- ・アフターケア支援
- ・人材確保と専門性の向上をどう図るか。

・今回、センター長・相談員・心理担当でグループが組まれており良かったです。里親担当や自立支援事業、アフターフォロー対応のスタッフ等、さまざまな専門のスタッフが各センター増えてきているように感じます。今後それらの職種での講習やGWができたら良いなと感じました。

・地域エンパワメント。支援者エンパワメント。

・東京都立小児総合医療センター・田中哲先生。「発達障害がいのある子どもたちのこころの育ち」一度きいてとても良かったです。またききたいです。

4 大会全体を通じた意見、感想

・情報交換会のブロック紹介が長く、だらけた。やるなら時間で切るべき。

・とても丁寧な対応、運営ですばらしいおもてなしだったと思います。ありがとうございます。

・今までの大会は”おもてなし”がメインであったが、今回の大会では、皆でもりあげていくというような感じだったと思います（情報交換会）。準備から開催までお疲れ様でした。たくさんの意見をきいてモチベーションがあがってきました。ありがとうございます。

・おもてなしありがとうございます。情報交換会関係の工夫もすばしかったです。楽しかったです！

・ありがとうございました。

・児家センが児相、市町村からの委託でケースを持つだけでなく、公的機関にはできない支援の形を発信していく努力がもっと必要だと感じました。児相や市町村に上がってこないケース(SOSを出せない子や親の)については大きな社会のニーズがあると思います。

①19時交流会開始を18時15分からにして下さい。間が空きすぎます。

②2泊3日ほしい。パネル討論会が中途半端です。

③研修会みたいです。特に講義とグループ討議。大会ではない。

・大変ありがとうございました。おもてなしの感じる大会でした。静岡県センターの皆様ありがとうございました。

・情報交換会の開始の時間を少し早めてほしかったです。21時終了は少し遅いような気がします。

・引き受け、お疲れ様でした。記憶に残る大会になったと思います。ありがとうございました。

・すばらしい会場で、お茶もおいしく頂きました。ありがとうございました。

・スタッフの皆様には本当にお世話になりました。有意義な研修会でした。ありがとうございました。

・いろいろ準備等ありがとうございました。知り得た内容を職場に持ち帰り、共有した

・ありがとうございました。

・研修時間が確保されており、グループ討議も有意義で、とても充実した大会でした。

関係者の皆様、大変お世話になりました。

・静岡の皆さん、大会の準備、運営等ありがとうございました。

・施設の設置年数や職員の勤務年数によって課題が違うため、グループワークの内容がかみ合わないこともありました。静岡の皆様、お世話になりありがとうございました。

温かいお茶がとってもおいしかったです。

・万全な体制での受け入れありがとうございました。牧先生のお話しもとても感動。参考になりました。

・大会スタッフ大変お疲れさまでした。

・当番県スタッフの皆さまのおもてなしに感激しました。本当にありがとうございました。

・ご準備、ご尽力いただき誠にありがとうございました。おもてなし、お心遣い嬉し

かったです。また、ゆっくり静岡に遊びに来たいと思います。

・情報交換会の座席に悩むのである程度決まっていると嬉しい。次回もグループ討議は職種ごとでお願いしたい。

・大変良い機会を頂きありがとうございました。

・会場も広く、ゆったりした充実した研修ができました。スタッフの皆さん、大変お疲れ様でした。

・ゆきとどいたおもてなしに、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

・グループ討論を2日に分け、同じグループでの実施となったが、この方法はとても良

かった。懇親会では鳴り物がなかったが、これで良いと思う。

・ていねいな運営、進行ありがとうございました。

・大会へ参加させていただき、様々な内容の研修を受けさせていただきありがとうございました。毎回、刺激を受けてもちかえらせていただけてありがたいです。

・丁寧な大会運営お疲れさまでした。ありがとうございました。

・ありがとうございました。大会とは直接関係ありませんが、ご飯が美味しかったです。

・全体の時間が短い中、行政説明、講演、海外研修報告など多くのことがありどれも内容が不十分に感じる。やることをしぼってもよいのではないか。

・ありがとうございました。

・お世話になりました。ありがとうございました。

・素晴らしい会場、大きな2つの部屋、アクセスの良さ、本会を企画頂きありがとうございました。牧先生のお話を聞くことができ、他センターともお話させてもらい、本当

に意義のある2日間となりました。

・静岡実行委員の皆さまありがとうございました。

・忙しい業務の中、大会を運営して頂きありがとうございました。充実した時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

・ありがとうございました。お疲れさまでした。

・実行委員の皆さん、事前準備から対応お疲れ様でした。ありがとうございました。

・準備期から大変だったかと思います。細やかなご配慮ありがとうございました。